

平成24年2月18日

各都道府県協会理事長 殿
各ブロック協会理事長 殿
各連盟理事長 殿
関係各位 殿

(財)日本ハンドボール協会
競技本部長 江成 元伸

競技規則の確認、及び、その他の確認(平成24年4月1日実施)

国際ハンドボール連盟から、「IHF 2011 競技規則の解釈」の通達を送付されました。日本協会は、IHFが定めた事項以外に、各国ハンドボール協会が追加することができることとされた事項、及び、日本協会独自の国内規則を定め、通知します。

また、それ以外の事項についても通知しますので、各組織に対して周知徹底をよろしくお願いします。

この確認の内容は、平成24年4月1日から実施します。

記

1 IHF 2011 競技規則の解釈

別添資料の通知通り、実施する。

2 ハーフタイム(競技規則2:1)

国内では、原則として従来通り10分とする。テレビ放映、その他の理由により大会規定として、最長15分までのハーフタイムを取ることができる。

3 チームタイムアウト(競技規則2:10)

IHFの通達通り、3回請求できることとする。チームタイムアウト請求カードは、競技規則通りのサイズとする。

4 選手出場人数(競技規則4:1)

16名までを認める。日本協会では従来、連盟、大会ごとに選手出場人数は規定してよいとしていたことから、15名以下でもよい。なお、平成24年度全日本総合選手権は16名の参加申込み、ゲームエントリーも16名編成とする。ジャパンオープンは国体リハーサル大会なので、リハーサル大会は本国体の参加人数を上回らない規模で実施するとい

う日本体育協会が定める規程を遵守するため、大会参加申込みは16名、ゲームエントリーは14名で実施する。

5 平成23年4月1日付競技本部長通達「平成23年度競技運営に関する通達について」の再確認

下記事項は通知済みであることから、各団体はその趣旨を遵守するよう、特に確認する。

1) 大会裁定委員会について

平成22年度大会開催マニュアルで、大会裁定委員会は「大会期間中の出場停止を超える処分が必要な場合は、大会主催団体の定められた会議において審議し、処分を審議する。さらに、加盟団体の処分の範囲を超える場合は、本協会の懲罰委員会に提訴する。」と規定している。

裁定委員会として、処分の範囲を超える裁定をしないよう留意されたい。

2) 試合中のチーム役員、選手の発言、態度、行為について

試合中、チーム役員、選手による技術的・戦術的指示等は認められるが、技術的・戦術的な指示であっても度を越した発言、態度、行動は許されない。目に余るスポーツマンシップに反する行為に審判員が直接気がつけば、審判員が罰則を適用する。審判員が気がつかないときは、マッチバイザー、TDから審判員に知らせ、審判員が罰則を適用する。

審判員、TDは毅然とした態度で公平に判定するよう、再度確認する。

6 パワー(サイクリング)パンツ、アンダーシャツの着用について

平成24年度は、パワーパンツを着用する場合は、競技規則通り短パンツと同色であるか、短パンツと色の異なるパワーパンツを着用する場合は、チーム全員が同じ色のパワーパンツを着用しなければならない、と改正する。

アンダーシャツの着用も同様で、ユニホームの色と同色のアンダーシャツを着用しなければならない。色の異なるアンダーシャツを着用する場合は、チーム全員が同じ色のアンダーシャツを着用しなければならない。

7 マッチバイザーの任務、平成24年4月1日改訂版の発行

マッチバイザーの任務、平成24年4月1日改訂版を発行した。

8 7mスローコンテスト登録・記録用紙

別添資料の通り、7mスローコンテスト登録・記録用紙を作成した。

9 選手変更について

国体は従来通り国体要項に従い、監督・代表者会議の前日までに証明書添付で変更手続きを行う。その他の大会は、代表者会議開始前までに選手変更届を提出する。理由は明記するが、その内容は問わないので証明書の提出は必要ない。